

## アジヤ地域研究専攻 Asian Area Studies

### >>> 博士課程 前期課程

#### 教育研究上の目的

アジヤ地域研究科アジヤ地域研究専攻博士課程前期課程は、アジヤ諸地域の問題に関する理解と洞察力を深め、アジヤ地域研究に関する深い学識を修めた、国際的な広い視野に立脚した研究能力及び高度に専門的な職業能力を有する人材の育成を目的とする。

#### ▶ ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

アジヤ地域研究科アジヤ地域研究専攻博士課程前期課程は、建学の精神に基づく教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、専門分野に関する次のような高度な能力を身につけ、修士論文が審査のうえ合格と認められた学生に修士(アジヤ地域研究)の学位を授与する。

- ①アジヤ地域の政治・経済・社会・歴史・文化・芸術に関する広範な知識を修得するとともに、特定の専門分野に関する高い理解力、国際的な広い視野に立脚した研究能力と職業能力を身につけている。
- ②アジヤ地域に生起する諸事象を多角的かつ批判的に考察し、修士論文等において国際的かつ広い視野に立脚した独自性のある意見を論理的に表現することができる。
- ③アジヤ地域について強い関心を持ち、特定の専門分野に高い問題意識を有し、多文化共生社会の実現に向けて積極的に行動し、グローバル社会の一員としての倫理感と責任感をもって問題の解決に取り組むことができる。

#### ▶ カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

アジヤ地域研究科アジヤ地域研究専攻博士課程前期課程は、修了認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

- 1 教育内容**
  - ①アジヤ地域の政治や社会、歴史や文化など多様な分野に関する専門的な講義科目と実習的な演習科目を中心にアジヤ地域研究に関する深い学識を身につける。
  - ②関連科目では地域調査方法論、地域研究実習、地域研究特殊講義といった科目の履修を通じて、アジヤ諸地域に共通する問題に関する理解と洞察力を深めると共に、実践的な研究方法を身につける。
  - ③各学生が希望するテーマに基づいた専門的研究が行えるよう教育課程を整備し、学生による選択の枠組みを設定する。
- 2 教育方法**
  - ①演習科目、研究指導等の少人数科目を利用し、インタラクティブな教育を実施する。
  - ②専門とする地域でのフィールドワークを推奨する。
  - ③主となる指導教員に加えて副となる指導教員2名による集団指導を行い、国際的かつ広い視野に立脚した修士論文の作成能力を育成する。
  - ④年2回の研究報告会を実施、その際の各学生の研究報告を活用し、自己評価と他者評価を踏まえた、研究状況の振り返りを促していく。
- 3 評価方法**
  - ①学位授与方針で掲げられた能力の評価として、アジヤ地域研究科における単位取得状況、研究指導受講状況、修士論文等の結果によって測定するものとする。
  - ②学位授与方針で掲げられた形成的評価として、1年次の詳細な修士論文計画書、年2回の研究報告会での報告を活用し、教員による面談を実施する。
  - ③2年間の総括的な学修成果として、複数教員による論文の評価を行う。

#### ▶ アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

アジヤ地域研究科アジヤ地域研究専攻博士課程前期課程は、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)に基づき、次のような要件を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

- 1**
  - ①アジヤ地域研究に取り組むのに十分な基礎学力と必要な言語運用能力を有している。
- 2**
  - ①アジヤ地域の諸事象について多角的かつ批判的に分析し、自らの考えを的確に論じることができる。
- 3**
  - ①アジヤ地域の諸事象について高い問題意識を持ち、国際的な広い視野に立脚した研究能力と職業能力の獲得を目指し、国際協力や国際交流に貢献する意欲を有している。

#### Curriculum 2022年度 カリキュラム

##### ■専攻科目

アジヤ地域研究演習		
・アジヤ地域研究1	・アジヤ地域研究5	・アジヤ地域研究9
・アジヤ地域研究2	・アジヤ地域研究6	・アジヤ地域研究10
・アジヤ地域研究3	・アジヤ地域研究7	
・アジヤ地域研究4	・アジヤ地域研究8	

##### ■関連科目

・地域研究実習1	・地域研究特殊講義1
・地域研究実習2	・地域研究特殊講義2
・地域研究実習3	・地域研究特殊講義3
・地域研究実習4	・地域研究特殊講義4
・地域調査方法論1	・地域研究特殊講義5
・地域調査方法論2	・地域研究特殊講義6
・地域調査方法論3	・キャリア特殊講義1
・地域調査方法論4	・キャリア特殊講義2
	・キャリア特殊講義3



## アジヤ地域研究専攻 Asian Area Studies

### >>> 博士課程 後期課程

#### 教育研究上の目的

アジヤ地域研究科アジヤ地域研究専攻博士課程後期課程は、アジヤ地域研究に関して幅広く深い学識を修め、国際的に認知・評価される高度な専門性と実践力、及び高度な研究能力・職業能力を有し、アジヤ地域研究の専門家としてグローバルに活躍できる人材の育成を目的とする。

#### ▶ ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

アジヤ地域研究科アジヤ地域研究専攻博士課程後期課程は、建学の精神に基づく教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、専門分野に関する次のような高度な能力を身につけ、博士論文が審査のうえ合格と認められた学生に博士(アジヤ地域研究)の学位を授与する。

- 1**
  - ①アジヤ地域に関する高度な専門性と深い学識を修め、国際的かつ多角的な視点に立脚した理解力と洞察力、アジヤ地域研究の専門家として国際的に認知・評価される研究能力、アジヤを舞台に活躍できる高度な職業能力を身につけている。
- 2**
  - ①アジヤ地域に生起する諸事象を多角的かつ批判的に考察し、博士論文等において、深い洞察力と見識および高い専門性をもった独自性のある意見を論理的に表現することができる。
- 3**
  - ①アジヤ地域の歴史と現状について幅広い関心と高い問題意識を有し、多文化共生社会の実現に向けて積極的に行動し、グローバル社会の一員としての高度な倫理感と責任感をもって、多角的な視点から課題の探索と問題の解決に積極的に取り組むことができる。

#### ▶ カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

アジヤ地域研究科アジヤ地域研究専攻博士課程後期課程は、修了認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

- 1 教育内容**
  - ①アジヤ地域の政治や社会、歴史や文化など多様な分野に関する専門的な知識をさらに発展させ、演習科目を中心に、アジヤ地域研究に関する多角的な視野と高度な専門性、深い学識を身につける。
  - ②論文指導作成では、アジヤ地域に関する専門的研究を行うための深い洞察力と、専門家として国際的に認知・評価される研究能力を育成する。
  - ③各学生が専門的研究を行うテーマに関して、より深い研究を推進できるよう教育課程を整備し、学生が自ら選択し、議論し、研究内容を吟味できるような枠組みを設定する。
- 2 教育方法**
  - ①演習科目、論文作成指導科目を利用し、インタラクティブな教育を実施する。
  - ②専門とする地域でのフィールドワークを推奨する。
  - ③主となる指導教員に加えて副となる指導教員2名による集団指導を行い、多角的な視点から国際的に認知・評価される博士學位論文の作成能力を育成する。
  - ④年2回の研究報告会を実施、その際の各学生の研究報告を活用し、自己評価と他者評価を踏まえた、研究状況の振り返りを促していく。

#### Student Voice

アジヤ地域研究専攻  
博士課程前期課程2年

谷口 裕三さん

大東文化大学 国際関係学部卒

#### ▶ 専門的な知識をカタチにしアウトプットできる楽しさと喜びを知る

私が大学院に進学した理由は主に2点あります。1点目として、大学3年生から始まる卒論作成の際に研究をし、自分なりに意見を持ちそれを論文としてまとめていく作業を通して大学4年間学んできた知識をアウトプットできる場としての楽しさ、魅力を感じたからです。大学では小中高で学んできたような知識ではなく、より専門的で最新の知識を得られるが、就活やその後の生活においてそれらをアウトプットできる場はそう多くないため、今まで学んできたこれらの知識をカタチにできるところに魅力を感じました。2点目として、研究職を目指したいと考えているからです。上記の理由にも通じることではあるのですが、大学3年生からの卒論作成を通じて研究をすることの楽しさを知り、研究職という道を志したいと感じました。研究職を目指すにあたって大学院でより専門的、かつ、高度な知識を身につけ、研究者としてそれらを駆使できるようになりたいと思い、大学進学を選びました。その際に、大学1年生からの付き合いの本学国際関係学部教授の指導のもとで研究を行いたいと思い、本学に内部進学することを決意しました。また、指導教員の研究分野が重なっていることもあり、環境にとっても恵まれています。さらに、指導教員ではない他の教員の方々も積極的に相談に乗ってくださってくれているので安心して研究に取り組むことができています。



## アジア地域研究専攻 専任教員

**井上 貴子**  
INOUE Takako

博士(学術)  
研究科委員長・教授

研究分野 南アジア地域研究(インド文化・芸能史)

- 最終学歴: 東京大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究8(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: アジアの音楽文化、宗教芸能の比較文化史
- 主な著書・論文: 『近代インドにおける音楽学と芸能の変容』(2006.青弓社)、『ビートルズと旅するインド、芸能と神楽の世界』(2007.拓殖書房新社)、『アジアのポピュラー音楽—グローバルとローカルとの相克—』(編著:2010.勁草書房)、『現代インド5—周縁からの声—』(編著:2015.東京大学出版会)、『インドジェンダー研究ハンドブック』(編著:2018.東京外国語大学出版会)

**岡本 信広**  
OKAMOTO Nobuhiro

博士(経済学)  
教授

研究分野 中国経済、地域経済学、産業連関分析

- 最終学歴: 中国人民大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究4(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: 中国の地域開発、都市化
- 主な著書・論文: 『転換を模索する中国—改革こそが生き残る道』科学出版社東京(監訳:2015)、『中国—奇跡の発展の「原則」—日本貿易振興機構アジア経済研究所(単著:2013)、『中国の地域経済—空間構造と相互依存—』日本評論社(単著:2012.日本地域学会著作賞、環太平洋産業連関学会賞)、『Spatial Structure and Regional Development in China? Interregional Input-Output Approach - Palgrave Macmillan(編著:2005) など

**高野 太輔**  
KONO Taisuke

博士(文学)  
教授

研究分野 西アジア史

- 最終学歴: 東京大学大学院
- 担当授業科目: 地域研究特殊講義1(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: 初期イスラム時代(7~10世紀)の西アジア史
- 主な著書・論文: 『アラブ系譜体系の誕生と発展』(2008.山川出版社)、『預言者ムハンマド伝1~4』(共訳:2010~2012.岩波書店)、『マンスール』(2014.山川出版社)

**田辺 清**  
TANABE Kiyoshi

修士(文学)  
教授

研究分野 比較芸術学、美術史

- 最終学歴: 成城大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究10(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: イタリア・ルネサンス絵画(レオナルド・ダ・ヴィンチとフィレンツェ派を中心に)
- 主な著書・論文: 『アジアの芸術と文化—エロスをめぐる—』(編著:1998.未來社)、『イタリア・ルネサンス美術論—プロト・ルネサンス美術からバロック美術へ—』(共著:2000.東京堂出版)、『伝統と象徴—美術史のマトリックス—』(共著:2003.沖積舎)、『レオナルドの教え—美術史方法論研究論集—』(共著:2013.ポーターインク)、『岡倉天心—伝統と革新—』(編著:2014.大東文化大学東洋研究所)

**古川 宣子**  
FURUKAWA Noriko

博士(教育学)  
教授

研究分野 朝鮮史、教育史

- 最終学歴: ソウル大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究7(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: 朝鮮近代における教育構造、就学動向研究
- 主な著書・論文: 『植民地慶尚北道における学校「普及」と地域—金泉高等普通学校の設立をめぐる動きを中心に—』、『植民地帝国日本における支配と地域社会』(2013.国際日本文化センター)、『植民地近代社会における初等教育構造—朝鮮における非義務制と学校「普及」問題—』、『帝国と学校』(2007.昭和堂)、『1920年代大邱徳山学校—その教育実態と植民地教育行政』『朝鮮史研究会論文集』第45集(2007)

**鹿 錫俊**  
LU Xijun

博士(法学)  
教授

研究分野 東アジアの政治と国際関係、日中関係史、中国政治外交史、台湾問題

- 最終学歴: 一橋大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究2(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: A. 要人達の日記の通時的検証に基づく日中関係史の新探究、B. 歴史記念施設から見る日中両国の歴史観
- 主な著書・論文: 『中国国民政府の対日政策1931-1933』(単著:2001.東京大学出版会)、『蒋介石の「国際的解決」戦略1937-1941』(単著:2016.東方書店)、『東アジア国際政治史』(共著:2007.名古屋大学出版会)、『中国への多角的アプローチ』(共著:2014.中央大学出版部)

**須田 敏彦**  
SUDA Toshihiko

博士(農学)  
専攻主任・教授

研究分野 農業経済学、南アジア農村経済論、日本農業論

- 最終学歴: 東京大学大学院
- 担当授業科目: 地域調査方法論1・2(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: 農業経済学、南アジアの農村経済、日本農業論
- 主な著書・論文: 『インド農村金融論』(2006.日本評論社)、『日本農業の基本理論』(2006.農林統計協会)

**ギャレン・ムロイ**  
Garren MULLOY

博士(政治学)  
教授

研究分野 政治学、国際関係、平和安全保障論

- 最終学歴: Newcastle University
- 担当授業科目: 2022年度特別研究期間
- 研究テーマ: 政治学・国際関係・平和安全保障論(特に日本の外交・防衛政策や平和と安全保障戦略)
- 主な著書・論文: My research interests are focused primarily upon Japanese foreign and defence policies, but also embrace broader security concerns, such as multinational peace and other intervention operations, and international security relations and conflict prevention efforts.

**滝口 明子**  
TAKIGUCHI Akiko

博士(アジア地域研究)  
教授

研究分野 文化史

- 最終学歴: 東京大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究9(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: 比較文化史(茶・本・コミュニケーション、芸術と科学)、茶を中心とする日本・アジア・欧米の文化交流史
- 主な著書・論文: 『英国紅茶論争』、『茶の博物誌』、『東洋の茶』(共)、『お茶を愉しむ—絵画でたどるヨーロッパ茶文化』、『ティーツーの快楽—茶の英文学史』、『アジアの茶を求めて—欧米より見たアジアの喫茶文化』、『女性・読書・魂—アシーニアン・マーキュリーの答え方』、『茶の辞典』(朝倉書店)

**新里 孝一**  
NISSATO Koichi

修士(法学)  
学務局長・教授

研究分野 政治学(日本の政治思想及び政治文化)

- 最終学歴: 成蹊大学大学院
- 担当授業科目: 地域研究特殊講義2(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: ケアの倫理学的研究
- 主な著書・論文: 『「依存」的倫理—日本社会的关怀倫理研究』(『东南大学学报(哲学社会科学版)』2015.5期)、『ケアと依存』(『東洋研究』178号、2010)、『無償性(GRATUITY)の領分』(『大東アジア学』11号、2011)、『批評の公式—戸部潤をめぐって—』(『東洋研究』135号、2000)

**松本 弘**  
MATSUMOTO Hiroshi

PhD  
教授

研究分野 中東地域研究

- 最終学歴: マンチェスター大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究6(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: エジプト近代史、イエメン地域研究、中東の民主化
- 主な著書・論文: 『酒井啓子編「途上国の軍・政治権力・市民社会」』(共著:2016.晃洋書房)、『アラブ諸国の民主化—2011年政変の課題—』(2015.山川出版社)、『長谷川雄一・金子芳樹編「現代の国際政治 第3版」』(共著:2014.ミネルヴァ書房)、『現代アラブを知るための56章』(編著:2013.明石書店)、『酒井啓子編「中東政治学」』(共著:2012.有斐閣)

**飯國 有佳子**  
IIKUNI Yukako

博士(文学)  
准教授

研究分野 文化人類学、東南アジア地域研究(ミャンマー)

- 最終学歴: 総合研究大学院大学
- 担当授業科目: 2022年度特別研究期間
- 研究テーマ: ミャンマー地域研究(特に宗教と社会文化的変容)
- 主な著書・論文: 『現代ビルマにおける宗教的実践とジェンダー』(単著 2011.風響社)、『ミャンマーの女性修行者ティエーラン: 出家と在家のはざまを生きる人々』(単著 2010.風響社)、『転換期のミャンマーを生きる: 「統制」と公共性人類学』(共著 2020.風響社)、『呪者の肖像』(共著 2017.臨川書店)、『ミャンマーを知るための60章』(共著 2013.明石書店)

## アジア地域研究専攻 専任教員

**遠藤 元**  
ENDO Gen

博士(理学)  
准教授

研究分野 東南アジア経済論・企業研究(タイ)

- 最終学歴: 東京大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究5(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: 東南アジアの消費と流通産業
- 主な著書・論文: 『新興国の流通革命—タイのモザイク状消費市場と多様化する流通』(2010.日本評論社)、『Diversifying Retail and Distribution in Thailand (Silkworm Books,2013)』、『The Key Role of Intermediaries in Thailand's Fresh Food Distribution System (The International Review of Retail, Distribution and Consumer Research 24(5), Routledge, 2014)』

**鈴木 真弥**  
SUZUKI Maya

博士(社会学)  
准教授

研究分野 社会学、地域研究(インド)

- 最終学歴: 慶應義塾大学大学院
- 担当授業科目: 地域調査方法論3・4(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)
- 研究テーマ: カースト、不可触民問題、社会運動、移民
- 主な著書・論文: 『現代インドのカーストと不可触民—都市下層民のエスノグラフィ—』(単著 2015.慶應義塾大学出版会)、『インドの社会運動と民主主義』(共著 2015.昭和堂)、『The Dynamics of Conflict and Peace in Contemporary South Asia: The State, Democracy and Social Movements』(共著 2020. Routledge)

**金 美珍**  
KIM Mijin

博士(社会学)  
准教授

研究分野 社会学、社会政策、市民社会論

- 最終学歴: 一橋大学大学院
- 担当授業科目: 地域研究特殊講義3(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)
- 研究テーマ: 韓国における社会政策、市民社会論
- 主な著書・論文: 『労働者と公害・環境問題』(共著:2021.法政大学出版局)、『韓国「周辺部」労働者の利害代表—女性の独自組織と社会的連携を中心に—』(2018.晃洋書房)、『韓国の最低賃金をめぐる社会的連携に関する一考察—「最低賃金連帯」の事例を中心に—』(2017.日本労働社会学会『労働社会学研究』第18巻pp.1~20)、『個人加盟ユニオンと労働NPO』(共著:2012.ミネルヴァ書房)

**廣江 倫子**  
HIROE Noriko

博士(法学)  
准教授

研究分野 香港法

- 最終学歴: 一橋大学大学院
- 担当授業科目: アジア地域研究9(前期課程)、アジア地域研究演習(前期課程)、アジア地域研究論文作成指導(後期課程)、アジア地域研究Ⅰ(後期課程)、アジア地域研究Ⅱ(後期課程)
- 研究テーマ: 香港法、香港基本法、香港国家安全維持法
- 主な著書・論文: 『香港国家安全維持法のインパクト—一国二制度における自由・民主主義・経済活動はどう変わるか—』(共編著 2021.日本評論社)、『香港基本法解釈権の研究』(2018.信山社)、『香港基本法の研究—一国兩制における解釈権と裁判管轄を中心に—』(2005.成文堂)、『香港危機の深層—逃亡犯条例改正問題と「一国二制度」のゆくえ』(共著:2019.東京外国語大学出版会)

